

施策分析シート（平成23年度）

No1

施策名	快適な生活道路の整備	施策No	08-03	部課名	土木部道路課		
				課長名	伊藤 勝弘	内線 2730	
関連部課名	土木部土木管理課						
行政評価事業体系	分野	環境先進都市[]					
	政策	良好で快適な生活環境の形成[08]					
目的	区民が、いつでも安全で安心して快適に利用できる道路を確保するため、適正な維持、修繕及び管理を行う。						
指標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (28年度)	
	陳情件数(件)	2,314	2,103	1,860	-	1,000	平成18年度の件数(2,129件)半減 (陳情内容:道路・街路灯・植栽等)
	細街路後退用地整備率(%)	33	34	35	36	45	整備延長 / 整備対象道路延長両側
現状と課題 (指標分析)	<p>○占用工事における仮復旧の状態をできるだけ短くし、早期に本復旧工事を行う。</p> <p>○損傷や陥没等の早期発見に努め、早期に処理を行う。</p> <p>○老朽化の著しい路線を中心に、舗装の打換えやL形側溝・雨水枡等の改修を行う。</p> <p>○環境に配慮した再生材利用を拡大していく必要がある。</p>						
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地整備の進展・技術の進歩・社会情勢の変化によって交通形態も変化しており、区民のニーズや管理する道路も多様化している。 ・環境に配慮した再生材利用の拡大や、自転車通行環境の整備、バリアフリーに対応したエレベーター・エスカレーターなどの適正な管理を行っていく。 						

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	環境に配慮した道路の整備、バリアフリーに対応した道路施設を含め道路の適正な管理を行っていく。

施策分析シート（平成23年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		21年度	22年度	前年度 設定	今年度 設定	
道路占用事務費	10-01-05	885	842	重点的に推進	重点的に推進	道路を適正な状態で管理するため、必要な事業である。
道路管理システム運営費	10-01-07	3,589	3,524	推進	推進	道路管理事務や占用企業者の申請業務など、事務の効率化のために必要である。
占用工事道路復旧事業	10-01-08	75,377	67,234	推進	推進	占用工事に伴う復旧整備は、道路を良好な状態に維持するために不可欠である。
道路管理事務費	10-01-11	24,100	35,389	重点的に推進	重点的に推進	道路を適正に管理するため、必要な事業である。
道路台帳補正費	10-01-12	11,813	12,548	推進	推進	道路の戸籍とも言える台帳の調製は、道路法に規定され、区民生活に不可欠な重要な事業である。
自動車等維持費	10-02-02	2,547	2,253	継続	継続	道路補修車等を適切に維持管理するうえで不可欠な経費である。
道路清掃費	10-02-04	74,914	74,421	継続	継続	道路を安全で快適な状態で維持する上で、必要である。
道路維持費	10-02-05	39,641	76,527	推進	推進	道路の機能を常に良好な状態に維持するため、必要不可欠な事業である。
道路損傷復旧工事費	10-02-06	0	0	継続	継続	道路付属物が損傷した場合、個人からの委託に基づき行う工事である。
道路応急工事費	10-02-07	60,956	61,926	重点的に推進	重点的に推進	道路を常に良好な状態に保つため、緊急対応工事は不可欠である。
街路樹等管理費	10-02-10	49,122	50,196	推進	推進	都市景観の形成や環境問題への対応のため、街路樹等の継続的な管理は必要である。
道路改修費	10-02-11	117,432	126,333	推進	推進	安全で安心して通行できる道路の機能を果たすため、計画的な道路改修が必要である。
私道整備費	10-02-20	56,281	56,300	推進	推進	公道を補完する私道についても、公道並みの整備を行う必要がある。
細街路拡幅整備工事費	10-02-21	162,680	191,993	重点的に推進	重点的に推進	防災性の向上や居住環境の改善を図るうえで重要な事業である。
サンパール通り整備費	10-02-22	30,371	43,990	休止・完了	継続	歩行者と自転車利用者にとって安全で快適な道路環境を提供するためには改修工事にあわせて歩車道を分離する必要があるが、より景観に配慮した整備を行うため、平成27年度以降に着手する(仮称)荒川二丁目複合施設の建設スケジュールに合わせて、一体的な整備を進める。
紅葉坂跨線人道橋調査費	10-02-23	0	0	重点的に推進	重点的に推進	当該跨線人道橋はJR山手線や京成線といった数多くの線路を跨いでおり、落橋等による甚大な影響を回避するため、当該跨線人道橋を良好な状態に保っていく必要がある。
日暮里中央通り整備費	10-02-28	3,360	4,891	—	推進	安全で安心して通行できる道路環境を確保するため、計画的な道路改良工事が必要である。
合 計		713,068	808,367			